

## リボン運動の総称は「アウェアネスリボン」！

〇〇運動に参加しています、賛同しています、知識あります、などの意思表示に、いろいろな色のリボンやバンドを身に着けている人を見かけたことはありませんか。

私が持っているのはオレンジバンドですが、これは「認知症についての講習を受けて勉強しました」というものです。まだまだ知識が追いつかず、町で迷子になっている年配の方を見かけても声掛けできるかは自身ありませんが、家族と一緒に仕事をしている方の周りで認知症の方がいらしたら少しでもお役に立ちたいとは考えています。

ですが、今回はバンドではなくリボンについて調べてみました。

よく知られているリボンのシンボルマークでは、乳がんの早期発見・早期治療などの大切さを伝える **ピンクリボン** でしょうか。日本でも東京タワーをピンクでライトアップするなどの活動も行われたりしています。

このように、啓発活動や支援の意思を示すために身に着けるリボンを「アウェアネスリボン (Awareness ribbon)」と呼ぶのだそうです。直訳すると「気づきのリボン」「認識のリボン」となるそうです。使用するには許可や連絡が必要な場合がありますのでご注意ください。

ほかには？

**オレンジリボン**：「子供虐待防止運動」

**グリーンリボン**：『移植医療』の理解促進・普及・啓発につながる取組の総称

**レッドリボン**：エイズの啓発運動

**ホワイトリボン**：世界中の女性がより健康に、自分らしく生きることを支援する運動

**ブルーリボン**：これにはいくつか運動があるようです。

- ・言論の自由を守る 反検閲運動 (アメリカ)
- ・北朝鮮による日本人拉致問題被害者を救出するための運動 (日本)
- ・受動喫煙防止運動 (カナダ)



リボンを輪にして折りピンで留めるのが基本スタイルです。



ちょっと今回お知らせする趣旨とは違いますが、

こんなかわいいリボンも見つかりました。

散歩などで出会う人や犬に対して「近づかないでね」「お願いそっとしておいてね」という意思表示のために、リードや首輪に黄色いリボンをつけるのがイエロードッグプロジェクト！

スウェーデンから始まったのだそうですが、様々な理由から人や犬との交流が難しいワンコ達への理解を深めるための活動です。ピンクリボン以外のリボンと同様、まだまだ認知度は低いですが、**多様な人や動物が同じ空間で生きていける、共存できる、そんな社会 (地球) になってほしい**と思いませんか。